

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名） こどもの生活と人間関係		授業の種類 （ 講義・ 演習 ・ 実習 ）	授業担当者	当該科目に関する実務経験
			河村 和代	保育士
			伊藤 彩	幼稚園教諭
授業の回数 15 回	時間数（単位数） 30 時間（1 単位）	配当学年・時期 1 年・後期	必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] ・ 保育内容「人間関係」について、その内容と具体的な指導法を理解する。子どもの目線に立った人間関係の構築とその指導法を習得する。それらを通して、保育現場における洞察力・課題発見能力、更には自己の人間関係形成力を高めることを目指す。 [授業全体の内容の概要] ・ 園生活における様々な乳幼児の人間関係に関する知識を学び、保育内容「人間関係」のねらい・内容について理解する。併せて、具体的な保育実践事例を通して、保育者の実践的な援助の在り方について理解を深める。 [授業終了時の達成課題（到達目標）] ・ 保育所保育指針における「人間関係」のねらい・内容を理解する。 ・ 乳幼児の様々な「人間関係」の育ちや芽生えについて、発達の観点から総合的に理解する。 ・ 乳幼児の人間関係に関する保育事例を通して、保育者としての具体的・実践的な援助方法について考察できる力を身に付ける。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] - 第 1 章 保育内容「人間関係」に求められること ①子どもとかかわりながら「育てる人」へと転換する ②現在の保育の枠組みから考えよう ③子どもの世界を感じよう ④保育者としての感覚を磨こう ⑤豊かな保育の現場を思い描こう - 第 2 章 生涯にわたる「人間関係」 ①生涯を通じた「人間関係」の原理とその発達 ②乳幼児期の「人間関係」 ③人間関係の発達を支える心理劇 - 第 3 章「人間関係」演習ーあなたならどうしますかー ①仲間入りを巡る人とかかわり ②人との信頼関係 ③けんかやいざこざから生まれるもの ④片づけと人間関係 ⑤遊びと人とのつながり ⑥言葉がつなげる人間関係 ⑦気になる子どもと他児とのつながり ⑧保護者支援と保育者の役割 ⑨地域・関係機関との連携 ⑩園内の人間関係と保育者の自分磨き - まとめ - 期末試験				
[使用テキスト・参考文献] ・ 保育内容 人間関係（萌文書林） ・ 最新保育講座 8 保育内容「人間関係」（ミネルヴァ書房）				
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点(25%) ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。				

- ・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。